

第 26 期貸借対照表

2022 年 6 月 16 日

東京都千代田区一番町 29 番地 2

さわかみ投信株式会社

代表取締役社長 澤上 龍

貸借対照表
(2022 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	4,829,187	【流動負債】	673,514
現金及び預金	4,352,903	未払金	54,409
直販顧客分別金信託	150,000	未払費用	15,934
未収委託者報酬	315,571	未払法人税等	371,926
前払金	97	未払消費税等	42,656
前払費用	8,057	預り金	128,556
未収入金	2,556	顧客分別金信託預り金	14,686
【固定資産】	344,863	賞与引当金	18,000
(有形固定資産)	39,510	ポイント引当金	27,345
建物	30,736	【固定負債】	37,363
器具備品	8,774	資産除去債務	37,363
(無形固定資産)	15,915	負債合計	710,878
ソフトウェア	15,915	純資産の部	
(投資その他の資産)	289,437	【株主資本】	4,463,173
長期差入保証金	61,785	資本金	320,000
長期前払費用	6,446	利益剰余金	4,143,173
子会社株式	271,094	利益準備金	80,000
繰延税金資産	52,157	その他利益剰余金	4,063,173
投資損失引当金	△102,047	繰越利益剰余金	4,063,173
		純資産合計	4,463,173
資産合計	5,174,051	負債純資産合計	5,174,051

(注) 1 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2 当期純利益 1,507,882千円

個 別 注 記 表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式（子会社株式）

移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法）を採用しております。また、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物 13年～15年

器具備品 4年～15年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、支給見込み額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

(2) ポイント引当金

顧客に付与したポイント使用に備えるため、将来行使されると見込まれる額を計上しております。

(3) 投資損失引当金

関係会社株式（子会社株式）の価値の減少による損失に備えるため、当該会社の財政状態等を勘案し、必要額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約に基づく主な履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点は次のとおりであります。

(1) 委託者報酬

委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき、投資信託財産の日々の純資産総額に対する一定割合として日々認識し計上しております。

(2) その他売上

その他売上は、確定拠出年金運営管理機関としての売上であり、確定拠出年金の運営にかかる報酬を契約に基づき月次で認識し計上しております。